

# 国際交流事業参加レポート 世界に広がる輪

国際交流を行う個人や団体を支援する国際交流事業を活用し、富良野高校2年生のラグビー部員4人が、7月21日から28日にニュージーランドで開催されたラグビーキャンプに参加してきました。

国民協働課 39-2311

ニュージーランド・ラグビーキャンプでは、たくさんの経験や成長ができました。ラグビーではパスや走り方といった基本的なことや、攻撃のスペースを作り出すといった戦術の仕方など、今後役に立つことをとてもわかりやすく教えてもらいました。日本のラグビーとニュージーランドでは、少し違うと感じました。

ラグビー以外にも、現地の人との交流や、ホームステイ先での生活や食文化など、たくさん学びました。いつもと違う環境で生活するのは大変でしたが、たくさんの方が来て良かったです。最終日に行われた交流試合では、ニュージーランドで習ったことを活かして勝つことができて良かったです。今回のキャンプは、とても自分の中で良い経験になったし、楽しかったです。

菅原 脩平さん

私は、今回の遠征で学んだことがいくつもあります。まず、ラグビーの技術です。15人制ラグビーの世界ランキング1位のニュージーランドが、どんな練習をしているのか体験してきました。まず、驚いたのが設備です。広大なラグビー専用グラウンドに、空気で圧を調整できるスクラムマシンがあり、さすが1位だけあるなと思われました。次に技術についてですが、非常にシビアな練習しか行っていませんでした。パスから始まり、コミュニケーションをとること、スペースをつくって走るなど、

日本では省かれがちな基礎メニューばかりでした。これは、学生時代に基礎を固め、将来、選手として体を鍛えて大きくする際に時間を割かないように意図されて組まれているメニューだと聞きました。将来、ラグビー選手になることを前提に育成されている点は非常に驚きました。

次にホームステイでの体験です。場所はニュージーランドクライスチャーチボーイズハイスクールから車で1時間程度の距離にある家でした。牛や羊を飼って、牧畜で生計を立てていました。ホストファミリーは身長190センチ以上の巨漢で、最初怖かったです。ラグビーの話が片言でつないで仲良くなれました。料理はラザニアやチーズなど、とても美味しい物をいただきました。

言葉がなかなか通じない中、ラグビーを通じていろいろ人と交流がもてました。費用は決して安くはないですが、それ以上の価値があると思ったので、ぜひ、この遠征を続けていただき、1人でも多くラグビーを通して成長できる機会があれば良いなと思いました。

齊藤 祐真さん

富良野高校ラグビー部  
部員総勢25人が、平成16年以来、3回目の花園出場をめざして、日々、練習に励んでいます。



ニュージーランドのラグビーキャンプに参加してきました！

ニュージーランド・ラグビーキャンプに参加し、主にラグビーのトレーニングを全国から集まった人たちとともに、現地の高校のコーチから教わりました。基本的なことや新しい練習方法を学ぶことができ、すごくためになりました。

ラグビー以外にも観光をしたり、ホームステイを経験して、他文化をより細かく体感できました。特に、ホームステイは、ホストファミリーとたくさん交流できて思い出に残りました。ごはんも日本食と同じくらい美味しく、また行きたいと思いました。

多加 颯斗さん

僕は、ニュージーランド・ラグビーキャンプに参加し、学んだことは2つあります。1つ目は、練習をする、ということの考え方は、ニュージーランドでは、ラグビーの練習は週に2日しか行わず、その代わりに1回練習したことは次の練習ではみんなができるようになっていなければいけない、と教わりました。毎日練習したことがおそろかになってしまふことがあるので、自分が今、何の練習をしていて、どう活かせるのか考えながら練習したいと思いました。

2つ目は、外国の人と会話することの難しさです。行く前から英語に苦労するだろうと思っていましたが、実際になまりが強く想像以上に聞き取ることが難しかったです。しかし、ジェスチャーなどいろいろ試してみても、会話が通じたときは、コミュニケーションをとるには言葉だけが必要なわけではないということがわかって嬉しく、少し自信が持てました。

横井 瞬太さん

これからは、学んだことを活かして生活し、英語の勉強にも力を入れたいと思います。